

第2学年 国語科学習指導案

指導者 教諭  
 児童数 11名  
 場所 2年教室

1 単元名 主語と述語に気をつけよう

2 単元の目標【評価規準の観点】

- (1) 主語と述語の関係に関心を持ち、主語と述語に気をつけて話したり書いたりしようとしている。  
 【主体的に学習に取り組む態度】
- (2) 主語と述語の適切な関係を用いて、短い文章を作ることができる。 【思考力・判断力・表現力】
- (3) 文の中における主語と述語との関係を正しく理解している。 【知識・技能】

3 タブレットの利活用について

カードを、従来のように紙で作って配ると、低学年の場合は、作業中に落としたり紛失したりすることがよくある。オクリンクを使ってカードを送信すれば、そうしたミスは起きず、誰に対しても、席を動くことなくカードを渡すことができる。また、オクリンクではカードどうしをつなげることが容易で、複数枚をグループや全体に送信することもすぐできる。作業をスムーズに行える利点を活用し、児童の意欲的な活動へとつなげていきたい。

4 本時の学習

(1) 目標

主語と述語の適切な組み合わせにより、短い文を作ることができる。【思考力・判断力・表現力】

(2) 展開 (   …評価 ●…達成不十分な児童への指導)

過程	学 習 活 動	形態	指導上の留意点
導 入	1 本時のめあてを確認する。	CW	○ 前時を想起させ、主語、述語の役割をおさえる。
	めあて しゅ語と じゅつ語を うまく組み合わせて 文を作ろう。(生かす力)		
展 開	2 自分が考えた言葉(主語または述語)と友達が考えた言葉を組み合わせて、意味が通じる文を作る。 ※出席番号が奇数の児童：主語 偶数の児童：述語	PW  PW CW	○ オクリンクを用いて、主語(ピンク)または述語(水色)のカードを複数枚、担任より送信する。 ○ 考えた言葉をカードに書かせ、オクリンクを用いて、自分の出席番号の次の友達に送信させる。 ○ 意味が通じるように、主語と述語のカードの組み合わせを作らせ、教師用タブレットを用いて発表する。
	3 文を構成する言葉カード 2種類から各1枚選び、主語、述語を考えて加えることで短い文を作る。	GW	○ 「どこで」「何を」を表す言葉カードをくじ引きによって選ばせ、それに合うような主語、述語をペアで考えさせ、意味が通じる文を作らせる。その際、主語はピンク、述語は水色のカードに書かせる。
	4 全体交流を通じて、主語と述語の組み合わせを検討する。	CW	○ 文章の意味が通じるように、主語、述語を考えているか、話し合わせる。
	<b>【評価の観点】</b> B 主語と述語の関係を正しく理解し、文を作ることができる。(発言・オクリンク・カード) ● 国語ファイルを用いて、主語、述語の意味についてふり返らせる。		
ま と め	5 本時の学習内容を確認し、振り返る。	PW	○ 本時で学習したことを想起させ、振り返りをさせる。